

# 竹炭を使ったチャの栽培試験

地元産のモウソウチクを炭に焼き、その炭を土壤に混入することによって、省化学肥料、高品質なチャの栽培可能性についての試験を実施している。試験期間は、1998年3月から10年間、試験圃場面積は、1600㎡である。1998年3月15日に、品種ヤブキタ、および、オクヒカリの挿し木2年生苗を2100本定植した。試験区は、8区設けた。

表1 各試験区の条件

試験区	品種	資材			場所
		種類	量 (kg/m <sup>2</sup> )	間隔	
S1	ヤブキタ				
S2	オクヒカリ	荒	0.5	定植時	株下
S3	ヤブキタ	市販の炭	0.1	毎年	畝間
S4	ヤブキタ	細	0.1	毎年	畝間
S5	ヤブキタ	荒	0.5	定植時	株下
S6	ヤブキタ	炭添加肥料	0.6	定植時	株下
L1	ヤブキタ	細	0.1	毎年	畝間
L2	ヤブキタ	荒	0.5	定植時	株下

注) 細: 3~5mmのチップ状の竹炭  
 荒: 荒く粉砕した竹炭  
 : S4, S5区にはぼかし肥を施用



試験圃場全景



定植したチャ苗(左:オクヒカリ、右:ヤブキタ)



炭の施用状況(左:粗く砕いたものを一度に、右:細かく砕いたものを毎年)



モウソウチクの伐採

